

一般会計決算に対する討論

平成28年度一般会計決算は、9月定例会最終日に認定されました。この議決に先立ち、同決算に対する討論が行われ、4人の議員から賛成意見が、4人の議員から反対意見がありました。その概要は次のとおりです。

賛成

力と魅力に満ちた綾瀬の実現に向け、まい進いただくことを要望し、本決算に賛成する。
(志政あやせ)

●平成28年度決算は、人口減少、超高齢社会を見据え、地域経済の活性化などによる持続可能な都市づくりを目指した各種事業を実施し、時期を捉えた事業を展開したと評価する。主な新規・拡充事業を予算の柱ごとに意見を述べる。「元気の力」では、いずみ保育園(分園)の整備助成を始め、既設保育所の定員増を図るなど、子育てするなら綾瀬の実現に向けた取り組みを行った。「産業の力」では、市内産業を活性化するため、中小企業への受注拡大や設備導入への支援により、経営基盤強化や競争力を向上させ、市内産業の持続的な発展が図れたと評価する。「教育文化の力」では、神崎遺跡は公園の一部が開園し、資料館では歴史学習が始まった。来館者がすでに1万人を超え、今後は、再来館者獲得のため、魅力ある事業の展開を期待する。「環境の力」では、焼却処理を行っていた木製家具を固形燃料化することで、資源活用や高座清掃施設組合の負担金の削減も図れたことを評価する。「安全安心の力」では、準用河川比留川遊水地整備は、周辺住民が整備を望んでおり、市民の安全、安心確保のために着実に整備を進め、29年度末の完成を願う。今後も、市長が掲げる活

●平成28年度決算の主な新規・拡充事業に対して意見を述べる。28年度から整備工事を進めてきた、保健福祉プラザは、本市の少子高齢化対策や子育て支援の拠点施設としての機能を発揮していただきたい。市は、医療機関誘致に向けて、人工腎臓装置導入費用の一部を助成し、人工透析医療機関の市内への開設誘導を実現した。市内の透析患者がより身近で医療の提供を受けることができるようになったことは評価する。生活保護世帯や生活困窮世帯の中学生に対し、学習支援のほか、市内公共施設での居場所づくりを実施したことは、貧困連鎖の歯止めにも有効な取り組みである。本市初となる公設の放課後児童クラブを綾瀬小学校、綾西小学校区内に開設し、仕事と子育ての両立支援が着実に進んだ。教育文化の振興では、学校図書館への学校司書を配置させることで児童・生徒が身近に本と親しむ機会が増え、読書活動を推進した。さらに、中学校に非常勤教員を増員し、学力向上に向けた取り組みが着実に推進しているものと評価する。今後も扶助費の増加や人口減少局面を迎える中、健全なプライマリーバランス

を維持し、引き続き、持続可能な財政運営をしていくため、経済動向に注視し、計画的な事業執行に努めることを要望し、本決算に賛成する。
(公明党)

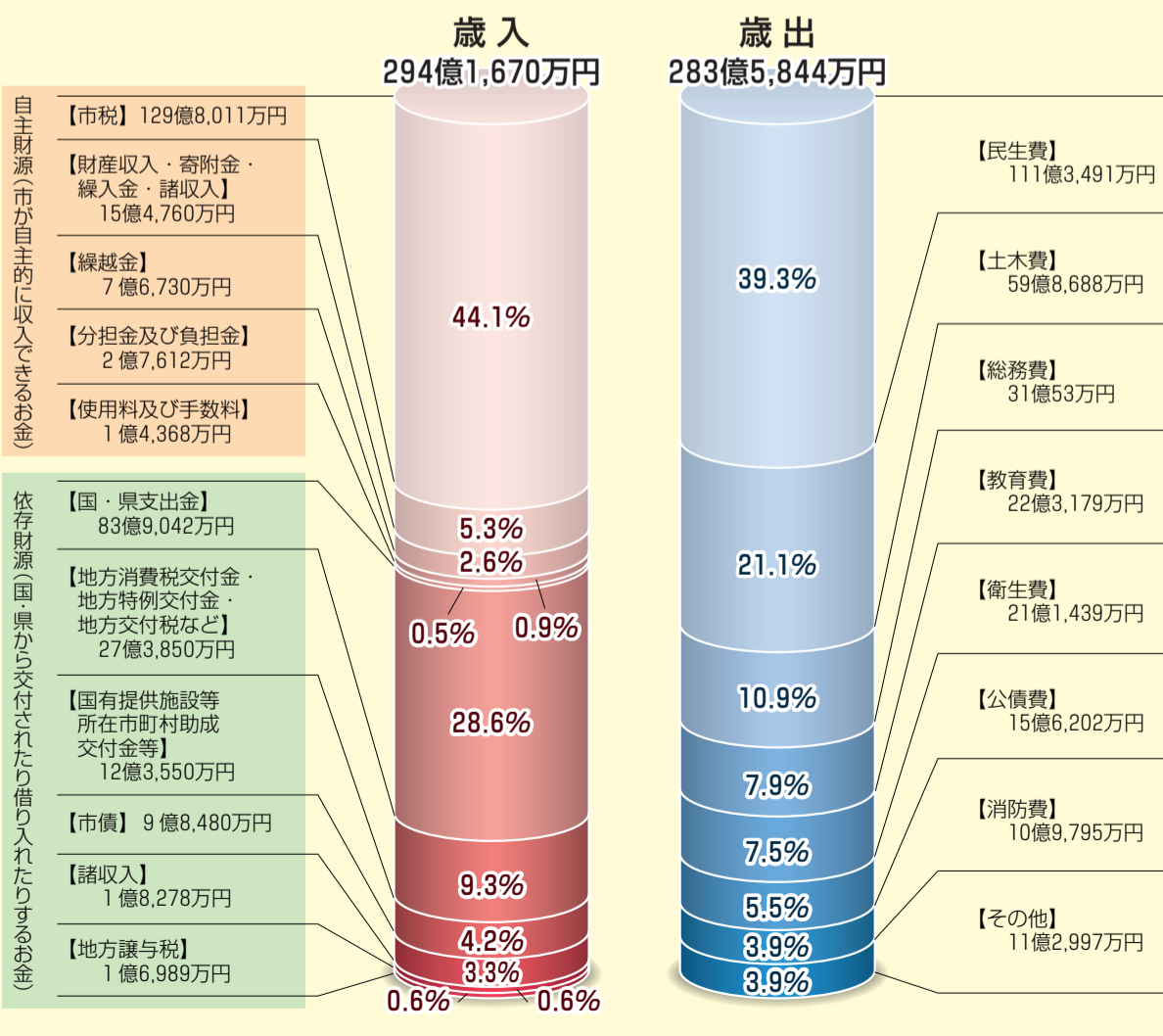
●平成28年度決算は、インターネット事業、保健福祉プラザ事業などのハード事業や子育て支援関連予算、臨時福祉給付金など社会保障費の増により人口減少の克服や持続可能な行政運営を行った。歳入では、市税全体では増収となったが、厚木基地の空母艦載機部隊の岩国移駐に伴う調整交付金や特定防衛施設調整交付金への影響も懸念される。今後も自主財源確保に努めてもらいたい。歳出では、総務費は、地域活性化応援寄附金制度を創設し、市内産業の活性化を図るとともに、自主

財源確保につながることを期待する。民生費は、いずみ保育園(分園)の整備助成をはじめとして、公設放課後児童クラブの整備など動向した課題である学童保育のニーズにも対応し、子育てと仕事の両立支援の環境づくりが前進した。土木費は、(仮称)綾瀬スマートインターチェンジ整備や準用河川比留川浸水対策など緊急性のある事業を進めた。いずれの事業も都市基盤として重要なため、早急な事業促進を希望する。教育費は、神崎遺跡資料館が、より一層魅力ある施設として、さまざまな企画などで集客力を高め市の郷土愛を育む場としての利用に努めてもらいたい。今後も、活力ある持続可能な都市を目指した行政運営を行うことを要望し、本決算に賛成する。
(あやせ未来会議)

平成28年度各会計の決算規模

会計名	歳出決算額	昨年との比較		
		増減	伸び率	
一般会計	283億5,844万円	5億5,085万円	2.0%	
特別会計	国民健康保険事業	107億9,224万円	△2億6,615万円	△2.4%
	下水道事業	30億9,115万円	△6億4,846万円	△17.3%
	深谷中央特定土地区画整理事業	3億7,072万円	△4,715万円	△11.3%
	介護保険事業	43億3,842万円	1億6,297万円	3.9%
	後期高齢者医療事業	9億1,023万円	8,468万円	10.3%
	計	195億276万円	△7億1,411万円	△3.5%
合計	478億6,120万円	△1億6,327万円	△0.3%	

平成28年度決算状況(一般会計)



●平成28年度決算を総合戦略の4つの基本目標ごとに意見を述べる。「出産・子育て環境の向上」では、新たに開始した紙おむつ等支給事業で多子世帯の経済的負担軽減を図るとともに、待機児童ゼロに向けて民間保育所の誘導にも取り組み、着実に子育てしやすい環境づくりや結婚に期待が持てる意識づくりを推進した。「稼ぐ力持つ産業・仕事の創出」では、農業団体が行った綾瀬産トウモロコシのポスター掲示への助成、地方創

生加速化交付金を活用したビジネスマッチング事業やブランド新商品開発支援事業に取り組んだ。本市の経済全体を活性化し、将来にわたって持続可能な都市とするには必要事業であり高く評価する。「交流人口の取り込み」では、官民一体となったロケ誘致が交流人口の増加と知名度向上につながる。あやせとんすきメンチによる経済効果も出始め、ロケを起爆剤とした市内商業のさらなる発展に期待する。「人口減少・超

高齢社会に対応したまちづくり」では、28年4月に開設した健康度見える化コーナーは、多くの市民が利用しており、健康寿命延伸に向けたさらなる取り組みに期待する。28年度決算で達成した成果を29年度以降さらに発展させ、活力と魅力に満ちた綾瀬の実現を願う、本決算に賛成する。
(新政会)